

創造・参加・実践
No.599

最新のJR西労組運動をチェックしよう!

JR西労組ホームページ

http://www.jrw-union.gr.jp

QRコードでダイレクトニュースを登録して下さい

労働協約改訂交渉や春闘等のJR西労組運動の情報を文字ニュースとして配信します。

※wjru.comをドメイン指定して下さい。



西日本旅客鉄道労働組合

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号

西 阪 急 ビ ル 9 階

TEL:06-6375-9869代 JR071-7155代

(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 荻山 市朗

編集責任者 宮野 勇馬

伯備線触車事故「安全の誓い」(要旨)

2006年1月24日13時18分頃、伯備線根雨・武庫間において発生した痛ましい触車事故から12年が経過しました。

日々業務に精励され、JR西日本の安全・安定輸送を支えていただいていた3名の御霊に対し、衷心よりご冥福をお祈りいたします。

107名の人命を奪った福知山線列車事故からわずか9箇月後に、私たちは、取り返しのつかない悲劇を繰り返してしまいました。皆様の無念さは計り知れず、JRに働く仲間として、本当に悔しく、申し訳ない気持ちで一杯です。

JR西労組は、事故を決して忘れず、悲惨な事故を二度と引き起こさない強い決意を持って、安全の確立を最優先課題に位置付けて、真摯に運動を進めてきました。

事故の反省と教訓を基に、地上作業員の命と安全を守るために、列車運転を支障させないことを前提とした仕組みから、作業員の人命を最優先し、運転に支障することを許容するしくみをあらたに導入した「工務関係触車事故防止準則(在来線)」について、6年間の歳月を掛けて労使で議論し検討を進め、2015年5月1日より施行しました。触車事故による犠牲者を絶対に出さない不退転の決意で、職場からの安全の確立に取り組みます。

また、労使の議論を経て策定したJR西日本「安全考動計画2017」の開始から最終年度を迎えまもなく5年が経過しようとしています。

今日まで死亡に至る鉄道労災が2件発生しており、既に目標の一部が未達成となってしまったほか、今なお待避不良や墜落・感電事故など死亡労災一步手前の危険な事象が相次ぎ発生しています。福知山線列車事故から12年を契機に、JR西労組は責任組合として、この間の検証を踏まえ、昨年3月には全ての分会を対象とした2回目となる安全考動計画検証アンケートを実施し、職場から様々な意見や課題を集約しました。これらの意見を次期安全考動計画に反映させていく必要があると考えています。

伯備線事故を教訓に「働く者の安全の確保が、ひいては鉄道の安全の確立につながる」との信念の下、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を完遂すべく全力を尽くします。

最後に、3名の仲間の尊い犠牲に報いるために、JR西労組全組合員の強い意志の下、将来に亘り安全で社会に信頼していただけるJR西日本を創り上げる決意をあらためて申し上げ、安全の誓いと致します。

安らかにお眠り下さい。

2018年1月24日

西日本旅客鉄道労働組合

中央執行委員長

荻山 市朗

「安全の誓い」米子地本で集い開催

伯備線触車事故から12年 吹雪の中、安全を誓う

2006年1月24日に伯備線触車事故が発生してから12年が経過した。米子地本では、安全の集いが開催され、大雪の中、約100名の組合員が集まった。集い終了後は、執行部メンバーとともに根雨保線管理室横に建てられた安全碑において「安全の誓い」を述べ、3名の御霊に対し哀悼の誠を捧げるとともに、二度とこのような事故が起きないように、安全への誓いを新たにした。

JR西労組の安全の取り組みを提起する福本業務部長



吹雪の中、安全の誓いを讀み上げる城副委員長



御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長

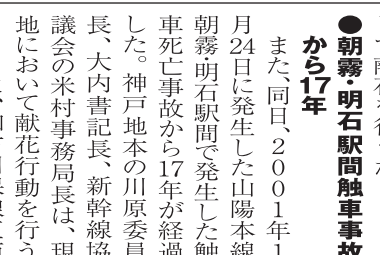


米子ワシントンホテルで開催された「米子地本2018年安全の集い」には、米子地本の組合員をはじめ約100名の組合員が集まった。中央本部からは、城副委員長、福本業務部長、山中工務部会長の3名が出席した。主催者代表あいさつ、来賓紹介の後、中央本部から「JR西労組の安全の取り組み」と題し、次期安全提言

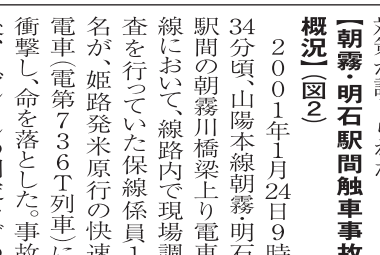
策定に向けての提言内容などについて、福本業務部長が提起を行った。そして、伯備線触車事故当時のニュースを報道する映像を視聴した後、大川書記長から再発防止に向け取り組んできた内容と残された課題について提起があった。

また、同日、2001年1月24日に発生した山陽本線朝霧明石駅間で発生した触車死亡事故から17年が経過した。神戸地本の川原委員長、大内書記長、新幹線協議会の米村事務局長は、現地において献花行動を行うとともに、加古川保線区西明石管理室にJR西労組の

安全の誓いを讀み上げる城副委員長



御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長



本部と米子地本執行部は、ともに日野町根雨保線管理室横に建てられた安全碑の前に、全員で黙祷を行い、亡くなった仲間の御霊を慰めた。当日の現場周辺は20センチを超える積雪があり、風が吹きすさび、気温も氷点下5度を記録するなど、12年前の事故当時を想起させる寒空の中、城副委員長は「安全の誓い」を讀み上げ、JR西労組を代表して献花を行った。

「朝霧・明石駅間触車事故概況(図2)」から17年

2001年1月24日9時34分頃、山陽本線朝霧明石駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた保線係員1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に衝突し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。

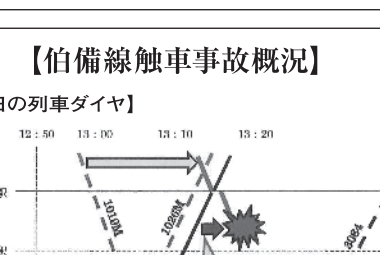
また、同日、2001年1月24日に発生した山陽本線朝霧明石駅間で発生した触車死亡事故から17年が経過した。神戸地本の川原委員長、大内書記長、新幹線協議会の米村事務局長は、現地において献花行動を行うとともに、加古川保線区西明石管理室にJR西労組の

安全の誓いを讀み上げる城副委員長

御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長

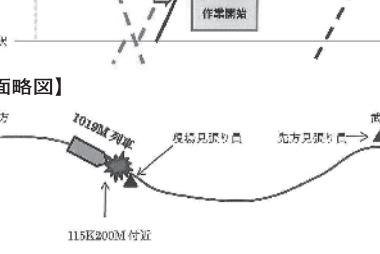


御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長



安全の誓いを讀み上げる城副委員長

御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長



「朝霧・明石駅間触車事故概況(図2)」から17年

2001年1月24日9時34分頃、山陽本線朝霧明石駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた保線係員1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に衝突し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。

また、同日、2001年1月24日に発生した山陽本線朝霧明石駅間で発生した触車死亡事故から17年が経過した。神戸地本の川原委員長、大内書記長、新幹線協議会の米村事務局長は、現地において献花行動を行うとともに、加古川保線区西明石管理室にJR西労組の

安全の誓いを讀み上げる城副委員長

御霊に安全を誓う神戸地本川原委員長

求めて昨年3月に建てられた安全の碑の前で、安全への誓いを新たにしました。

今後中央本部は、「安全確立」「事故の再発防止」に向けて全力を挙げる。各地本・総支部の組合員の協力を強く要請する。

「伯備線触車事故概況(図1)」

2006年1月24日13時18分頃、JR伯備線の根雨駅・武庫駅間で保線作業を行っていた仲間3名が、遅れてきた特急列車(スーパーやくも9号)に衝突し命を落とした。事故後、再発防止に向け、GPS列車接近警報装置、可搬式区間防止装置(ATIS)、触車事故防止準則の改正など様々な安全対策が講じられた。

中央本部は1月18日、中央本部会議室において、第2回賃金対策委員会を開催した。各地本・総支部の代表者とともに、2018年春季生活闘争の方針について熱く議論を交わした。会議に先立ち、中央本部を代表して上村書記長は、「新幹線の重大インシデントが発生し、安全対策により一層力を入れて取り組んでいく。一方で、春闘については、成果の公正な配分をキツリと求めていく」と挨拶を行った。

中央本部は1月18日、中央本部会議室において、第2回賃金対策委員会を開催した。各地本・総支部の代表者とともに、2018年春季生活闘争の方針について熱く議論を交わした。会議に先立ち、中央本部を代表して上村書記長は、「新幹線の重大インシデントが発生し、安全対策により一層力を入れて取り組んでいく。一方で、春闘については、成果の公正な配分をキツリと求めていく」と挨拶を行った。

5年連続のベア獲得を!

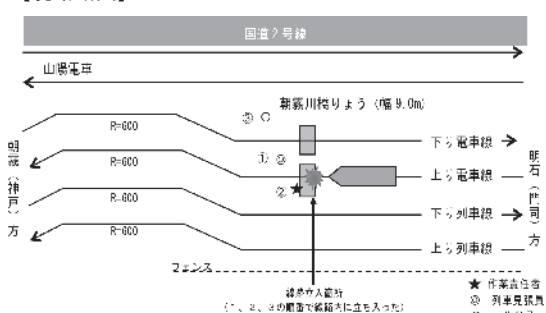
第2回賃金対策委員会を開催

中央本部は1月18日、中央本部会議室において、第2回賃金対策委員会を開催した。各地本・総支部の代表者とともに、2018年春季生活闘争の方針について熱く議論を交わした。会議に先立ち、中央本部を代表して上村書記長は、「新幹線の重大インシデントが発生し、安全対策により一層力を入れて取り組んでいく。一方で、春闘については、成果の公正な配分をキツリと求めていく」と挨拶を行った。

※第36回中央委員会で議論される内容については、JR西労組ニュースNo.514(1月30日発行)「職場討議資料」をご覧ください。

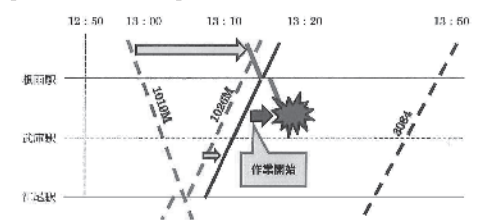
【朝霧・明石駅間触車事故概況】(図2)

【現場略図】



【伯備線触車事故概況】(図1)

【当日の列車ダイヤ】



【平面略図】

